

民生部関連質問

Q 南田議員
熊野町内における国民年金加入状況は。

A 関係機関と連携を取り、啓発等に力を入れていく。
(馬上住民課長)



Q1 当町の国民年金加入該当者の総数は。

A1 広島南社会保険事務所に問い合わせた結果、総数は平成16年3月末現在で6746人であった。

Q2 そのうち、確実に徴収できているのは何人か。

A2 確実に納付しているのは3399人。

Q3 加入後に未徴収になり完全徴収できていないのは何人か。

A3 未納期間があるものは573人。

Q4 未加入は何人か。

A4 未加入者については、町内の20歳から60歳未満の人口から、国民年金加入者、厚生年金加入者、共済年金加入者を差し引いた者、ということになる。しかしながら社会保険事務所では共済年金加入者を把握していないため、実数は把握できていない。

Q 福垣内議員
「健康寿命」を伸ばしていこう。

A 地域の活力を利用して事業を展開していく。
(平町民生部長)

Q 世界でも例のない超高齢社会へと向かう中、介護や医療など社会保障制度を支えていく上でも「元気なお年寄りが多い社会」が望まれる。こうした要望にこたえるため、熊野町は高齢者保健福祉計画及び第2期介護保険事業計画を、平成15年3月に打ち出した。その後の機能はどうか。

A 介護予防については、高齢者保健福祉計画における重点課題の一つとして「寝たきりにならない・させない」をテーマに、保健・医療・福祉・生涯学習など様々な部門が協調して幅広い施策を推進している。また、本年度から「健康づくり計画」の策定にも着手している。これからの超高齢社会に対応するため、町民一人ひとりの健康と、地域の活力を向上させていくよう、生きがいデイサービスや各地区でのミニデイホームなど、介護が必要にならないための予防策を今後も展開していきたい。